

COLOR LCD MONITOR

液晶モニタ・
ユーザーズマニュアル

LCM-T159A/Sシリーズ

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	4
ご注意	4
付属品の確認	6
第 1 章 はじめに	7
1 . 1 製品の概要	7
1 . 2 各部の名称と機能	10
1 . 3 取り扱いなどについて	13
第 2 章 接続について	14
2 . 1 接続について	14
2 . 2 接続後の作業	16
2 . 3 アームを取り付ける場合は	17
第 3 章 調整について	18
3 . 1 自動調整について	18
3 . 2 ワンタッチ調整	19
第 4 章 OSD メニュー	21
4 . 1 OSD メニューの起動	21
4 . 2 各項目の設定	23
第 5 章 トラブルシューティング	29
ハードウェア仕様	31

取扱い上のご注意



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



LCD パネルが破損した場合は

LCD パネルが破損すると、内部の液体（液晶）がもれることがあります。このような場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないように十分ご注意ください。万一、眼や口に入った場合は、速やかに水ですすぎ、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、アルコールなどでふき取り、石鹸で水洗いしてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源コードをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



正しい電源で使用してください。

電源コードは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・ パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・ 電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・ パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをする可能性がありますので注意してください。



感電注意



高温注意



ケガに注意

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。故障、感電、火災の原因となります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。



分解禁止

注意

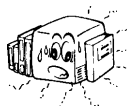
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



内部に異物を入れないでください。

本製品内部に水などの液体や金属片を入れると、故障、感電、火災の原因となります。



LCD パネルの取り扱い

LCDパネルに圧力を加えないでください。表示異常の原因となったり、LCDパネルの破損につながります。

LCDパネルの表面に硬いものをあてたり、こすったりしないでください。LCDパネルの傷や破損につながります。



その他の
禁止事項

使用環境について

本製品は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

本製品を収納する際は、付属の梱包材を使用して安定した場所に収納してください。高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



その他の
禁止事項

本製品が汚れた場合は

本製品が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。) 揮発性の薬品 (ベンジン・シンナーなど) を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



その他の
注意事項

本製品を廃棄する場合は

本製品が必要となくなった場合は、弊社にて受け付けております個人向けPCリサイクルシステムをご利用いただくか、地方自治体の条例等にしながら正しく廃棄処分を行ってください。



その他の
注意事項

ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



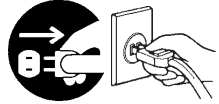
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

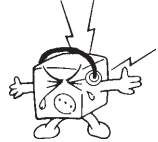
1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



本製品を使用して音声を再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



視力の低下などを防止するため、以下の点にご注意ください。

- ・ 屋内の適度な明るさの場所でご使用ください。
- ・ 画面の明るさやコントラストは適切なレベルまで調整してください。
- ・ 自然な姿勢で正面から見られるように角度を調整してください。
- ・ 長時間使用する場合は、定期的に休憩を取って目を休めてください。
- ・ 市販のCRTフィルタには紫外線などを防止する効果のあるものもあります。

ごあいさつ

この度は弊社カラー液晶モニタをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はカラー液晶モニタに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社カラー液晶モニタによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]-DOS、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh[®]、Mac[®] OSはアップルコンピュータ社の登録商標です。

Memo

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムに基づく表示



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



ご注意

液晶モニタは膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で少数のドットに欠落、変色、発光が見られることがありますが、これはTFT液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

付属品の確認

TFT液晶モニタ	1台
TFT液晶モニタ設置用台座	1個
電源コード	1本
オーディオケーブル	1本
保証書	1枚
液晶モニタ・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

第1章 はじめに

1.1 製品の概要

本製品は15型TFTカラー液晶モニターです。応答速度16msの高速応答15型パネルを採用しています。各社のDOS/Vパソコン、日本電気株式会社のPC98-NXシリーズおよびPC-9800シリーズ、アップルコンピュータ社のMacintoshシリーズなどに接続して使用することができます。

本製品の特徴

画面の表示モードを、色合いのはっきりとしたピクチャーモードと、目の疲れを抑えるために色合いをやや暗くしたテキストモードにワンタッチで切り替えることができます。

アンプ付のステレオスピーカを内蔵しているのでパソコンからの音声を本製品より出力することができます。またヘッドフォン端子を搭載しているのでこの部分に市販のヘッドフォンをつないでパソコンの音声を出力することができます。

電源表示ランプには視認性の高いブルーLEDを採用しています。

VESA規格のアームを取り付けることができます。

表示色1677万色擬似フルカラー、解像度1024×768の高解像度に対応しています。

本体に電源を内蔵し、ビデオケーブルが背面に直接取り付けられているのですっきりと取り回しを行うことができます。

上方向65°、下方向85°、左右85°(CR 5)の広視野角に加え、450:1の高コントラスト、応答速度16msの高速応答液晶パネルを採用しています。

本製品の調整は画面上にオーバーレイ表示されるOSDメニュー(On Screen Display Menu)から行うことができます。

背面に盗難防止キーの取り付けが可能なケンジントンセキュリティスロット準拠の取り付け穴を装備しています。

DCC 1/2Bに対応したプラグ&プレイ機能を持っているので、プラグ&プレイ対応のOSを使用することによって、最適な同期周波数などを自動設定することができます。

接続可能なパソコン

本製品は以下のようなパソコンに接続して使用することができます。

各社 DOS/V パソコン

日本電気株式会社 PC98-NX シリーズ

水平周波数 31.47KHz をサポートした

日本電気株式会社 PC-9800 シリーズ

セイコーエプソン株式会社 EPSON PC シリーズ

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズ

どのパソコンの場合も、以下の条件を満足しなければなりません。

ミニD-sub15ピンのRGBコネクタを持っていること。または接続アダプタ(*1)を使用して接続が可能なこと。

使用するビデオボード、ビデオドライバ、OSが次ページの表に記載されたディスプレイモードのどれかをサポートしていること。

*1 接続アダプタを使用する機種については16ページを参照してください。



ご注意

- ・本製品は98MATE / 98FELLOW以前のPC-9800シリーズおよびEPSON PCシリーズで水平周波数：31.47KHzに対応していない機種をサポートしていません。ご使用のパソコン本体が31.47KHzに対応しているかどうかパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。
 - ・本製品はインターレースモードをサポートしていません。使用可能なディスプレイモードについては、次ページの表をご参照ください。
-

サポートされるディスプレイモード

解像度	水平周波数	垂直周波数
640 × 350	31.47KHz	70.08Hz
720 × 400	31.47KHz	70.08Hz
640 × 480	31.47KHz	60.00Hz
640 × 480	35.00KHz	67.00Hz
640 × 480	37.86KHz	72.80Hz
640 × 480	37.50KHz	75.00Hz
800 × 600	37.88KHz	60.32Hz
800 × 600	48.08KHz	72.19Hz
800 × 600	46.86KHz	75.00Hz
832 × 624	49.72KHz	74.55Hz
1024 × 768	48.36KHz	60.00Hz
1024 × 768	56.48KHz	70.10Hz
1024 × 768	60.02KHz	75.00Hz
1024 × 768	60.24KHz	74.93Hz

すべてノンインターレースモードのみ。

1.2 各部の名称と機能

本製品前面

内蔵スピーカ

本製品内蔵の1W+1Wアンプ付ステレオスピーカが収納されています。付属のオーディオケーブルを使用してパソコンのスピーカ端子またはラインアウト端子と、本製品背面のオーディオイン端子を接続すると、このスピーカから音声を出力することができます。

MENU ボタン (-、PICTURE/TEXT ボタン)

このボタンを押すと OSD メニューが起動します。OSD メニュー起動時は - ボタンとして機能し、設定項目の値を下げるために使用します。

OSD メニューが起動していないときにこのボタンを長押しすると、ピクチャーモードとテキストモードを切り替えることができます。

MUTE ボタン (+ ボタン)

内蔵スピーカからの音声出力の ON/OFF を切り替えます。

電源スイッチ / 電源表示ランプ

本製品の電源を ON / OFF します。このスイッチは電源表示ランプとして本製品の電源が ON になると青に点灯し、本製品が省電力モードになるとオレンジ色に点灯します。

VOLUME ボタン (ボタン)

本製品の内蔵スピーカから出力される音量を調整するメニューを表示します。

AUTO ボタン (ボタン)

本製品の自動調整をワンタッチで行うボタンです。OSDメニュー起動時は選択項目を上に移動します。

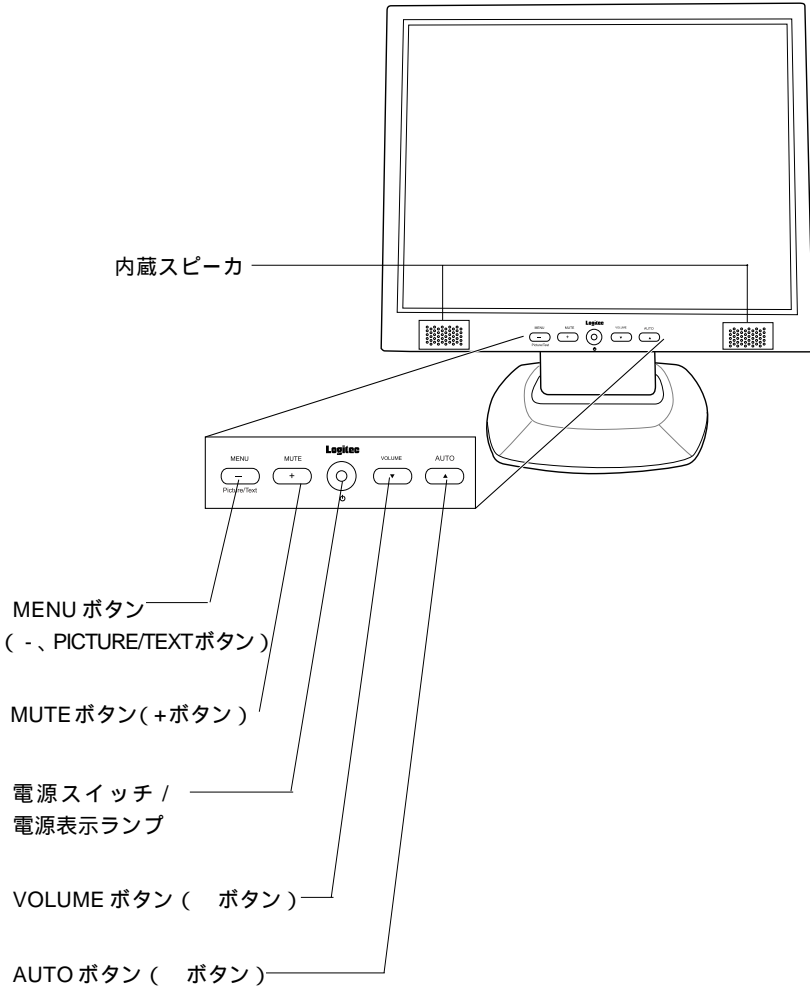
OSDメニューを終了させたいときは、このボタンを2秒以上長押しします。

Point

ポイント

OSDメニューが起動していない状態での、各ボタンから実行可能な調整については「第3章 調整について」をご参照ください。

本製品前面



本製品背面

電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。

VESA 規格アーム取付け穴 (ピッチ 75mm)

この部分に VESA 規格のアームを取り付けることができます。

オーディオイン端子

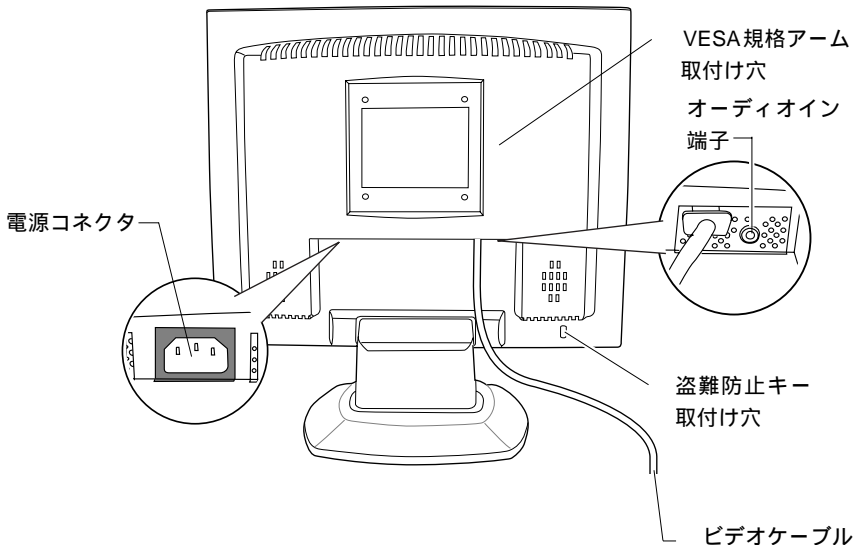
本製品内蔵スピーカーから音声を出力する場合に、付属のオーディオケーブルを使用してパソコンのラインアウト端子と接続します。

盗難防止キー取付け穴 (ケンジントンセキュリティスロット準拠)

盗難防止のためにカギつきのワイヤを取り付けることができます。

ビデオケーブル

このケーブルのコネクタをパソコン本体の RGB コネクタ (ビデオボード) と接続します。

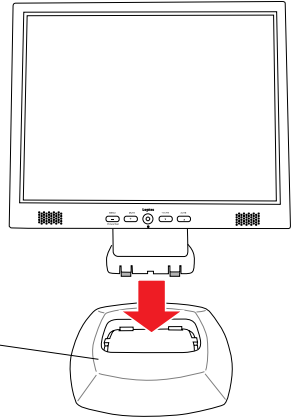


1 . 3 取り扱いなどについて

本製品の設置について

本製品設置の際は、付属の TFT モニタ設置用台座に取り付けてください。

本製品付属の設置用台座

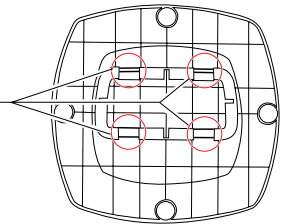


台座の取り外しについて

台座を取り外す際は、液晶面が下になる方向で安定した場所に置き、台座とスタンドを固定しているツメ（4ヶ所）を緩めて取り外してください。

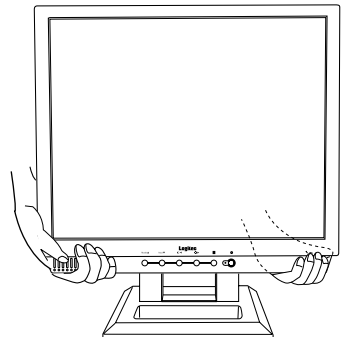
ツメは上2ヶ所と下2ヶ所を順番に緩めながら手前に引いてゆくとスムーズに取り外せます。

ツメの部分を押さえながら軽く引き抜きます。



本製品を持ち運ぶ場合は...

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず両手で右図の位置を持ってください。



第2章 接続について

2.1 接続について

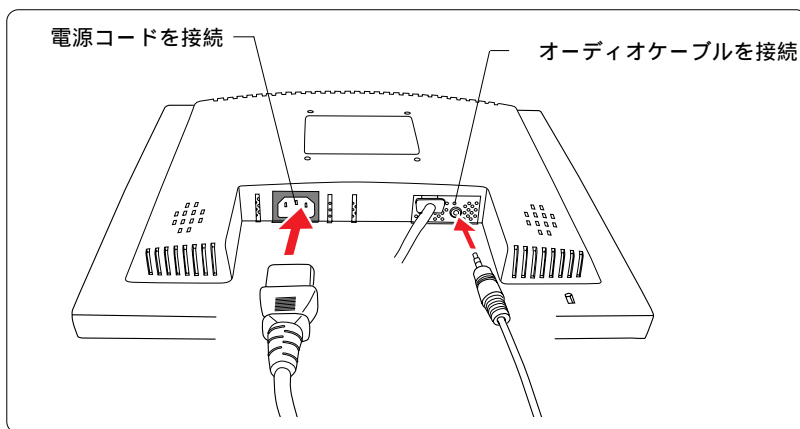
本製品の接続は以下の手順で行います。接続の前にパソコン本体および、そこに接続された全ての機器の電源をOFFにしておいてください。

本製品背面に電源コードを接続します。

本製品の電源コネクタに本製品付属の電源コードで接続します。(下図左参照)

本製品背面にオーディオケーブルを接続します。

本製品内蔵スピーカから音声を出力したい場合、付属のオーディオケーブルを本製品背面のオーディオイン端子に接続します。(下図左参照)



Point

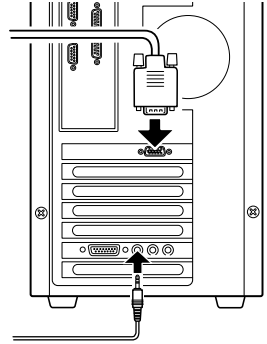
ポイント

電源コードとオーディオケーブルを本製品に接続する際は、安定した場所で柔らかい布などの上に、本製品を液晶面が下になる方向で寝かせると便利です。この際、液晶面に傷がつかないようにご注意ください。

ビデオケーブルとオーディオケーブルを接続します。

本製品から伸びているビデオケーブルをパソコン本体（ビデオボード）のRGBコネクタに接続します。アダプタが必要なパソコンをお使いの場合はビデオケーブルの先に接続アダプタを接続してください。（次ページ参照）

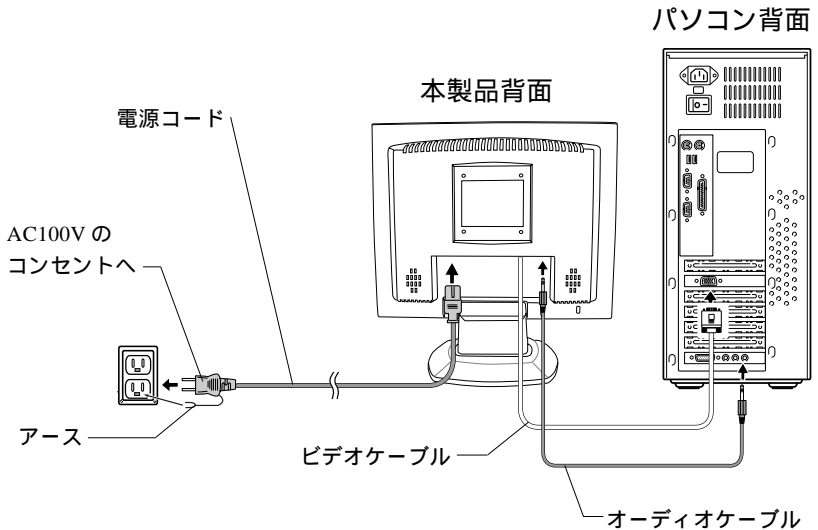
次に、手順 で取り付けしたオーディオケーブルをパソコンのスピーカ端子またはラインアウト端子へ取り付けます。



本製品の電源コードをAC100Vのコンセントに接続します。

この際、必ずアースを取るようにしてください。

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下のようになります。



2.1 接続について



ご注意

- ・接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。
 - ・本製品の接続は安定した場所で、片方の手で本製品をしっかり支えて、落とさないように注意して行ってください。
-



ご注意

- ・本製品を Macintosh シリーズの旧機種（標準 D-sub15 ピンの RGB コネクタを持つ機種）に接続する場合には、市販の Macintosh 用接続アダプタをご使用ください。
 - ・本製品を PC-9821 シリーズの旧機種（標準 D-sub15 ピンの RGB コネクタを持つ機種）に接続する場合は、市販の PC-9821 シリーズ用接続アダプタをご使用ください。（この接続アダプタを使用しても、水平同期周波数 31.47KHz をサポートしていないパソコンで本製品を使用することはできません。）
-

2

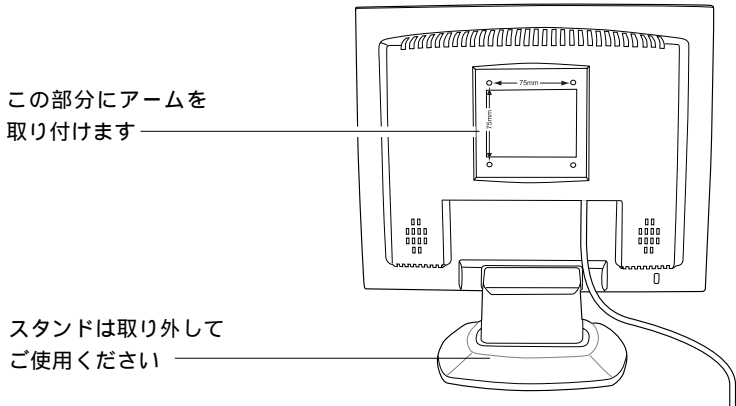
2.2 接続後の作業

本製品は、モニター プラグ & プレイ機能（VESA™ DDC™ 1/2B 規格対応）を搭載しているためこの機能に対応しているパソコンに接続すると、モニター情報が自動的に認識されます。初めてモニターとコンピュータを接続して起動したときに設定用のウィザードが表示された場合は、手順にしたがって「次へ」をクリックしていくとプラグ & プレイ モニタとして自動認識され使用可能になります。

2.3 アームを取り付ける場合は

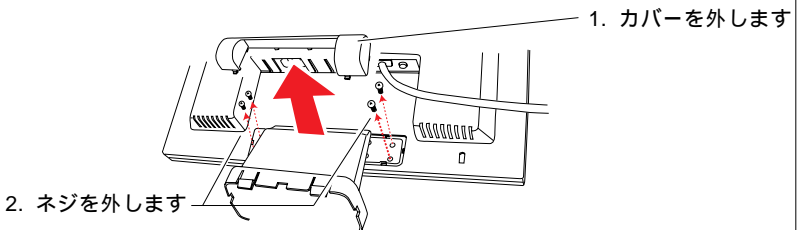
本製品はVESA規格のアームを取り付けることができます。アームを使用する場合は、背面の穴にアームを取り付けてください。本製品はピッチが75mmのものに対応しています。取り付けの際は、本製品からスタンドを外してご使用ください。

アームの取り付け方法についてはアームの取扱説明書をご参照ください。



スタンドの外し方

1. スタンドを支えている部分のカバーを上下の両側面を軽く押さえながら手前に引いて取り外してください。
2. スタンドを固定しているネジ（2ヶ所×2）を取外します。

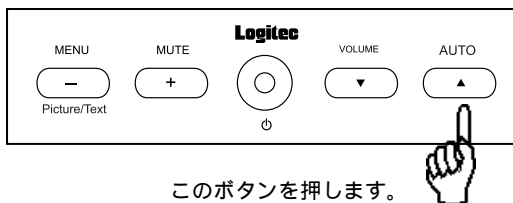


第3章 調整について

3.1 自動調整について

本製品を出荷時の状態で使用すると、まれに画面に縦縞が見えたり、画面がちらついて見える場合があります。これはパソコン本体から出力されるアナログRGB信号と本製品のタイミングが合っていない場合に起こります。

そのような場合「AUTOボタン」を押すと周波数と画面の位置の自動調整が行われます。通常は自動調整を行えば画面の調整を終了することができます。



細かな設定を行う場合や調整がうまく行かない場合にはOSDメニューから表示される各項目の設定を行ってください。OSDメニューについては第4章をご参照ください。

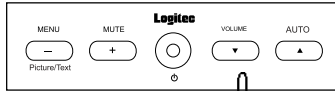


ご注意

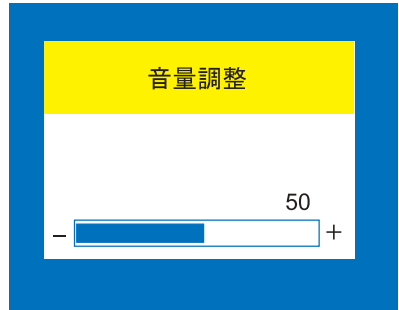
- ・調整を行う場合は、本製品の電源をONにした後、機器が安定するまで15分ほどお待ちください。
- ・自動調整で画面に縦縞や横縞があり、それをOSDメニューから手動で修正した場合、再度自動調整機能を使用すると、画面が縦縞や横縞があった状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

3.2 ワンタッチ調整

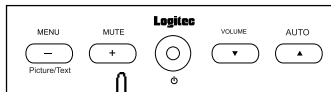
本製品は以下のボタンを押すことでワンタッチで音量およびミュート（音声出力）のON/OFFの切り替えおよび、ピクチャーモードとテキストモードを切り替えを行うことができます。



「音量調整」画面へ



「音量調整」画面では「+ボタン」「-ボタン」を押して音声出力の値を増減させることができます。「AUTO」ボタンを押すと設定を保存して調整を終了します。



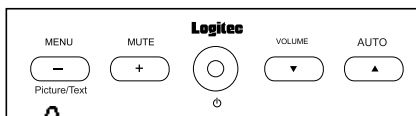
このボタンを押すと「ミュート」のオン/オフが切り替わります

ミュート オン

画面モードの切り替えについて

本製品は、画面の表示モードを、色合いのはっきりとしたピクチャーモードと、目の疲れを抑えるために色合いをやや暗くしたテキストモードにワンタッチで切り替えることができます。切り替えを行いたいときは、OSDメニューが起動していない状態で、「MENUボタン」を3秒程度押し続けてください。モードが切り替わると画面中央に「PICTURE MODE」または「TEXT MODE」と表示されます。

各モードの輝度、コントラスト、カラー設定はそれぞれ保持されます。



このボタンを押し続けます。

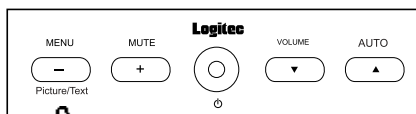
第4章

OSDメニュー

4.1 OSDメニューの起動

本製品の設定を手動で行いたい場合は、画面にオーバーレイ表示されるOSD（On Screen Display）メニューから行います。ブライトネス、コントラスト、カラーの設定は、ピクチャーモード、テキストモードそれぞれで個別に設定することができます。

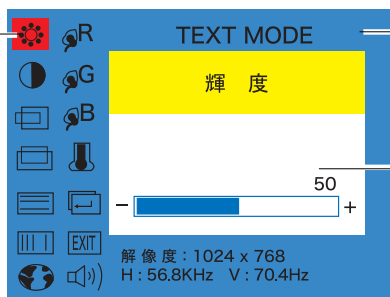
OSDメニューを表示したいときには、本製品の「MENU ボタン」を軽く1回押してください。



このボタンを軽く1回押してください。

以下のようなウィンドウが表示されます。これがOSDメニューです。選択されている項目は赤色で表示されます。

選択されている項目



現在選択されている画面モードが表示されます

選択されている項目

OSDメインメニュー

中央に現在選択されている項目が表示され、左側に選択可能な項目の一覧が表示されます。

OSDメインメニューからは以下の操作を行うことができます。

- 「 - ボタン」(MENU ボタン) 選択されている項目のパラメーターの値をマイナスする場合に使用します。
- 「 + ボタン」(MUTE ボタン) 選択されている項目のパラメータの値をプラスする場合に使用します。
- 「 」 「 」 ボタン メニュー内の項目を移動します。また、「 」 ボタンを2秒以上長押しすることにより、OSDメニューを終了させることができます。



ご注意

より精度の高い調整を行う場合は、電源をONにした後、機器が安定するまで15分ほどお待ちになってから調整してください。



ポイント

OSDメニューを表示した状態で、何も操作を行わないとOSDメニューが自動的に終了し、設定内容が保存されます。OSDメニューの表示時間は「OSD時間」で調節できます。

4.2 各項目の設定

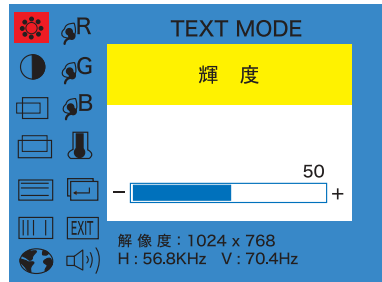
メインメニューが表示されたら、「ボタン」、「ボタン」を使用して、設定したい項目へ移動します。

項目の設定はその項目にカーソルがある状態で「+ボタン」「-ボタン」を押して行うことができます。

設定を保存してOSDメニューを終了する場合は、「AUTOボタン」(ボタン)を2秒以上長押ししてください。

「輝度」

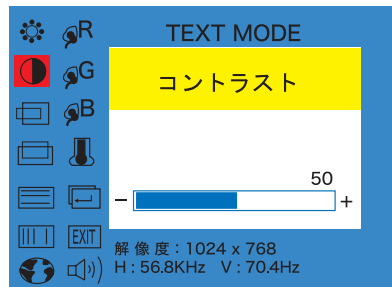
「輝度」では画面の明るさの設定を行います。カーソルが「輝度」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



4

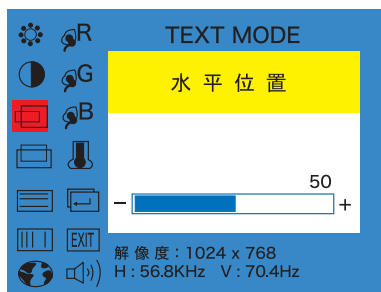
「コントラスト」

画面のコントラスト(明るい所と暗い所の差)を調整します。カーソルが「コントラスト」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



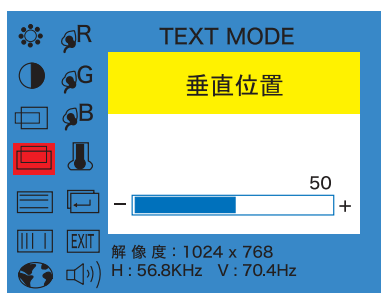
「水平位置」

ここでは画面の水平位置の調整ができます。カーソルが「水平位置」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



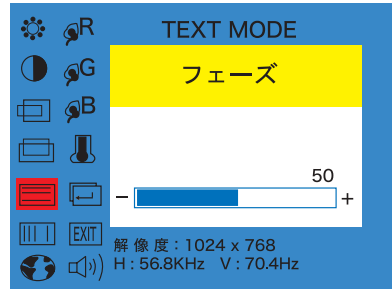
「垂直位置」

ここでは画面の垂直位置の調整ができます。カーソルが「垂直位置」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



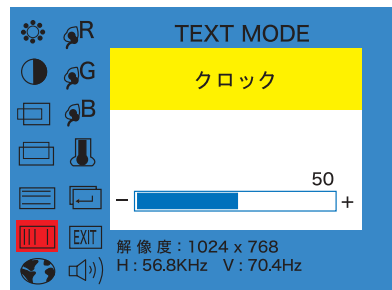
「フェーズ」

ここでは、フェーズ(ビデオ信号のサンプリング周波数)の調整ができます。画面がちらつく時に使用してください。カーソルが「フェーズ」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



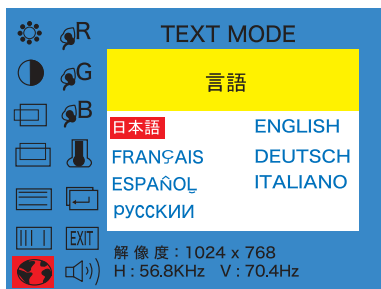
「クロック」

ここでは、クロック(ビデオ信号のサンプリングタイム)の調整ができます。画面に縦縞が出るときに使用してください。カーソルが「クロック」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



「言語」

OSDメニューで表示される言語を選択します。工場出荷時は「日本語」が選択されてます。本マニュアルでは、日本語での表示を元に説明しておりますので、通常はこの設定のままご使用ください。



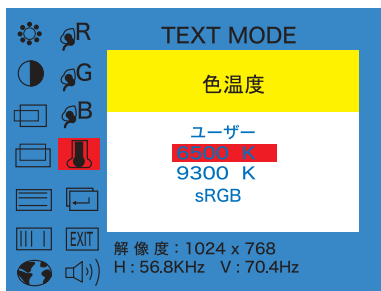
「色温度」

液晶画面の色温度を選択します。

色温度は「6500K」「9300K」「sRGB」「ユーザー」から選択可能です。

「+ボタン」「-ボタン」を押して色温度を変更することができます。

「USER」を選択すると、R(赤)G(緑)B(青)が選択可能になり、お好みで色の調整を行うことができるようになります。「sRGB」を選択するとデジタル画像用標準色 sRGB に近い色で画面が表示されるようになります。

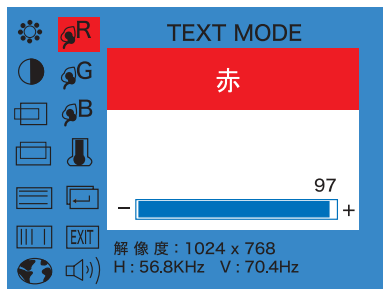


参考

9300K では画面の青味が強くなり、6500K では赤みが強くなります。sRGB を選択すると、デジタル画像用標準色 sRGB に近い色で画面が表示されるようになり、各種 sRGB 対応機器とのカラーマネージメントが容易になります。

「R、G、B」(赤、緑、青)

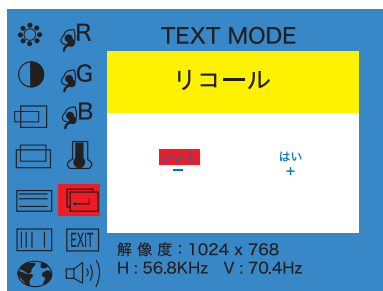
「色温度」で「ユーザー」を選択した場合、R(赤)G(緑)B(青)が選択可能になります。各項目にカーソルを合わせて、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



「リコール」

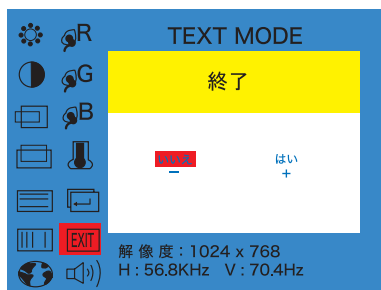
この機能を使用すると調整された内容を全て破棄して、設定を工場出荷時の状態に戻します。「リコール」が選択されている状態で「+ボタン」を押すと、リコールが実行されます。

4



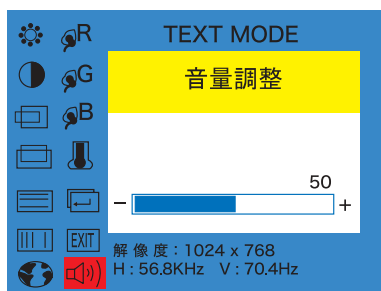
「終了」

ここで「+ボタン」を押すと、OSDメニューを終了します。



「音量調整」

ここでは、音量の調整ができます。カーソルが「音量調整」にある状態で、「+ボタン」「-ボタン」を押すと中央に表示されているパラメータの値が増減します。



第5章

トラブルシューティング

本製品の電源がONにならない。

- ・電源コードの接続、コンセントの状態を確認してみてください。

画面に「RGB NO INPUT SIGNAL!」と表示され、電源表示ランプがオレンジ色に点灯したままになる。

- ・パソコンがスリープ状態になっていないかどうかを確認してください。
- ・複数のモニタを使用している状態で、パソコン上から本製品が使用可能になっていますか？マルチモニタでご使用の場合、2台目以降のモニタを表示させるには、該当のモニタを使用可能に設定する必要があります。

画面が上半分しか表示されない。

- ・画面モードが「インターレースモード」になっていませんか？本製品は必ず「ノンインターレースモード」でご使用ください。設定の方法はご使用のビデオボード（もしくはパソコン本体）の取扱説明書をご参照ください。

画面に「OUT OF RANGE」という文字が表示される。

- ・その画面解像度および水平／垂直周波数は、本製品のサポートしているもの（P.9）ではありません。正しい画面解像度（もしくは水平／垂直周波数）でご使用ください。

画面に「SIGNAL CABLE DISCONNECT!」と表示される。

- ・ビデオケーブルが正しく接続されていません。接続の状態を確認してください。

画面が上下左右に偏って表示される。

画面に縦縞が見える。画面にちらつきがある。

- ・第3章を参照して、自動調整を行ってみてください。
- ・もし、自動調整を行っても症状が改善されない場合は、OSDメニューから手動設定を行ってください。画面の偏りは「水平位置」「垂直位置」で調整します。縦縞と画面のちらつきは「クロック」「フェーズ」で調整します。詳細については第4章をご参照ください。

OSDメニューの上部に「NON PRESET MODE」

と表示され、リコールを実行できない。

- ・ご使用のパソコン側の周波数、解像度に関する設定が本製品のサポートするディスプレイモードとあっていない場合、この現象がおこる場合があります。「1.2 製品の概要」内の「サポートされるディスプレイモード」を参照し、正しいディスプレイモードでご使用ください。

Windows , Mac OSなどでリフレッシュレートを変更したら画面が異常になった。

- ・そのリフレッシュレート(水平/垂直周波数)は本製品のサポートしている物でない可能性があります。何もしないでしばらく待っていると元の状態に戻るので、異なるリフレッシュレートを試してみてください。

その他：弊社ホームページについて

- ・弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」など、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

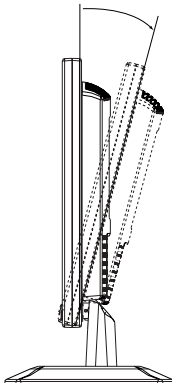
機種名		LCM - T159A / S	
液晶パネル		TFT アクティブマトリクスカラー液晶	
画面サイズ (対角)		15 型	
解像度		1024 ドット × 768 ライン (XGA)	
画素ピッチ		0.297 × 0.297 mm	
視野角 (CR 5)		左 85° 右 85° 上 65° 下 85°	
輝度		250 cd / m ² (最大値)	
コントラスト比		450 : 1	
コネクタ形状		Mini D - Sub 15ピン	
同期周波数	水平	30KHz ~ 82KHz	
	垂直	56 Hz ~ 77Hz	
入力信号	ビデオ信号	R,G,B アナログ 0.7 Vpp/75 (正極性)	
	同期信号	セパレート/コンポジット TTL (正/負極性)	
環境条件 *1	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 80 %
入力電圧		AC 100 V ± 10 % 50/60Hz	
消費電力	定格	18 W	
	省電力モード	1 W以下	
スピーカ出力		ステレオ (1W + 1W)	
LCDパネルの傾斜角度		垂直位置から後方へ 15° *2	
外形寸法 幅 × 奥行き × 高さ		約 340 mm × 176 mm × 340 mm *3	
質量		約 2.6 kg	

付属スタンドの傾斜角度

*1 ただし結露なきこと。

*2 左図参照。

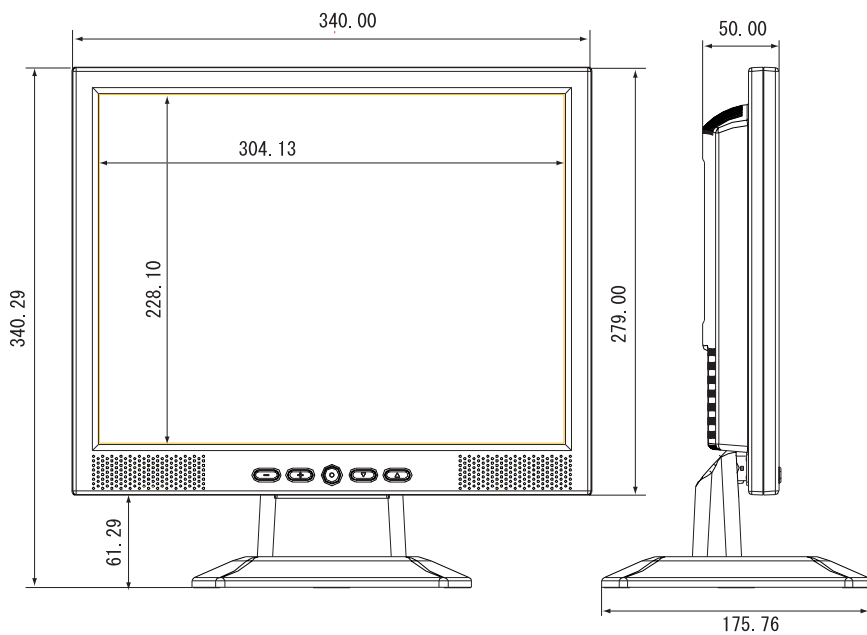
*3 スタンド含む。



垂直方向から
後方に 15° 以内

各部の詳細サイズ

単位 mm
小数点第3位以下は四捨五入



Memo

Memo

Memo

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

液晶モニタの廃棄について

弊社では、資源有効利用促進法に基づき液晶モニタのリサイクルを行っております。廃棄の際には以下までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

ロジックリサイクル受付窓口

TEL 0265-74-1447 FAX 0265-74-1456

受付時間： 9:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受付窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

受付時間：祝祭日を除く月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。

